

# 女子学生の生活態度・意識に関する調査結果

野村 晶子

目的：女子学生の生活態度や意識について、現時点での実態を促え、今後、Parsonality 研究や、適応に関する基礎資料とすることを目的とし、自己発展にともない、あるいは、文化・社会的影響を受けて、変容してゆくものと、時代や環境に左右されぬ青年期独特のものを認知する意味も含めて着手した次第である。

方法：質問紙法（無記名）に依り回答を求めた。調査期間は 1985 年 5 月である。調査項目として、I 人生観関係、II 自己関係、III 友人・生活関係、IV 家庭関係、V 学校関係、VI 国家社会生活関係、VII 未来関係、VIII 異性関係、を設定した。今回の調査対象は、女子学生（2 年次）24 名であるため、予備調査の段階のものとして報告する。

結果及び考察：（Table の内いずれも N=24 名（ ）内はそのパーセンテージを示すものとする。）  
先ず、I. 人生観関係では、(1)人生で何を求めていますかに対し、1位は、幸福な結婚 17(23.6)、2位は円満な家庭の建設 15(20.8)、3位は他人との誠実や愛 14(19.5) をあげている。又、趣味に合った生活 11(15.3)、やりがいのある仕事 9(12.5) がこれに次ぎ、信仰による救いや、何を求めてよいか分らない。は皆無であった。即ち、女子学生は、幸福な、円満な、誠実な結婚、家庭、愛を築く、といういかにも女子青年らしい理想をうたっている。仕事、趣味は当然の結果として下に廻わされている。(2)宗教を信仰しますかに対しては、1位、信仰に関心がない 21(87.5) で、神や仏など信じられない 2(8.3) がこれに次いでいるが、実際は、信仰による救いを求めている（キリスト教）の 1(4.2) であり、現代青年の無信仰が浮きぼりにされたが、時代的背景による傾向であろう。(3)道に迷って

る人を見たらどうしますか。に対し、1位、たずねられたら教える 18(75.0)、次いで、声をかけてみる 6(25.0) で、親切、思いやりはうかがえる。(4)人間の本性では本来、善か悪かに対し、善でも悪でもない 11(45.8)、分らない 4(16.7) と回答し、ニュートラルな反応が多かった。尚、善であると回答したものは 6(25.0)、悪と回答したものは 3(12.5) で、Subjects の学習に依るものであろうか。(5)「もともと、頼れるものは自分だけだ」という意見に賛成ですに対し、はいと答えたものは 13(54.2) で、「いいえ」と答えたものは、11(45.8) で、アイデンティティ形成過程である Subjects にとっては、いかにも青年期らしい中間性を示しているといえよう。(6)「今の社会ではあくせくしないでのんびりするのが大切だ」に対し、「はい」は 10(41.7) で、「いいえ」は 14(58.3) であり、やや「速さ」を要求されているようである。(7)「お金は貯金するより使った方がよい」に対し、1位は、「いいえ」 16(66.7) で半数以上が貯金を念頭においているが、反対に「いいえ」 2(8.3) であり、「分らない」と回答したのも 6(25.0) もいる点については、モラトリアムの存在であり、お金が、Subject の手もとに残らない場合もあるので、その点、考慮しなければならぬ回答であろう。  
次に、II. 自己関係については、(1)自分の性格等について満足していますかに対して、1位、やや満足している 11(45.8)、次いで、やや不満である 10(41.7) であり、やや(まあまあ)と、深刻ではないが、不満である 2(8.3)、満足している 1(4.2) もあり、満足度はまあまあであり、自我発達を促しているものといえるし、自己同一性の確立の途上であるといえよう。(2)自分の性格についてどんなに

Table 1. 人生観関係

(1) 人生で何を求めていますか。	
他人との誠実や愛	14(19.5)
お金や地位	3(4.2)
やりがいのある仕事	9(12.5)
信仰による救い	0(0)
円満な家庭の建設	15(20.8)
国家社会への献身	0(0)
趣味に合った生活	11(15.3)
幸福な結婚	17(23.6)
その他	1(1.4)
何を求めてよいか分らない	0(0)
(2) 宗教を信仰しますか。	
信仰による救いを求めている	1(4.2)
(求めている宗教	キリスト教)
神や仏等信じられない	2(8.3)
信仰に関心がない	21(87.5)
(3) 道に迷っている人を見たらどうしますか。	
声をかけてみる	6(25.0)
たずねられれば教える	18(75.0)
気かけない	0(0)
(4) 人間の本性は本来善か悪かいずれだと思いますか。	
善である	6(25.0)
悪である	3(12.5)
善でも悪でもない	11(45.8)
分らない	4(16.7)
(5) 「もともと頼れるのは自分だけだ」という意見に賛成ですか。	
はい	13(54.2)
いいえ	11(45.8)
(6) 「今の社会ではあくせくしないでのんびりするのが大切だ」	
はい	10(41.7)
いいえ	14(58.3)
(7) 「お金は貯金するより使った方がよい」	
はい	2(8.3)
いいえ	16(66.7)
分らない	6(25.0)

考えていますかに対しては、やや外向的8(33.3)が第1位であり、次いでやや内向的7(29.2)と、性格についても「やや」又は普通6(25.0)と、80パーセントが、中間的と認めているが、非常に外向性である3(12.5)との回答もあり、非常に内向性0(0)で、女子学生は、やや外向的であり、リーダーシップも場に依り取れているようである。(3)自分の話し好きについてどんなに考えますかに対し、第1位は、非常に話し好き9(37.5)、第2位、やや話し好き8(33.3)と、約70パーセントのものが話し好きである。普通と答たものは6(25.0)、話すことは非常に嫌である1(4.2)、やや話し好きでないは、0であった。女子学生はPersonality要因のもの以外では、話し好きの傾向がみられた。(4)自分の意志は強いと思いますかに対し、第1位は、やや強い10(41.7)で、次いで、普通5(20.8)、やや弱い5(20.8)と、ばらつきがあり、非常に強いも4(16.7)であったが、非常に弱いは0であった。自己信頼性に因るものであろう。(5)自分の人柄は魅力があると思いますかに対し、第1位は普通16(66.7)で過半数を占めている。次いで、やや魅力的である4(16.7)、やや魅力が足りない;判断しているが、非常に魅力的であるや、非常に魅力が無いは皆無であった。(6)人間として他の人と比較してどんなに思いますかに対して、普通19(79.2)、やや劣等感を持っている4(16.7)、非常に劣等感を持っている1(4.2)であり、非常に又は、やや優越感を持っているものは皆無であった。(7)進学、就職、結婚等重要な問題は誰に相談するかに対し、1位は友達20(83.3)、次いで両親16(66.7)であった。又、母親7(29.2)、お世話になった先生6(25.0)、姉兄6(25.0)とこれに次ぎ、その他、父親2(8.3)、先輩1(4.4)、近所のおばさん1(4.2)となっている。(8)特に理想とする人物・愛好する作家、芸術家等をあげなさいに対し、1位は三浦綾子3(12.5)、次いで赤川次郎2(8.3)があがり、黒柳徹子、いわさきちひろ、徳川家康、田中角栄、S・ワンダー、栗本薫、アガサ・クリスティ、源氏鶏太、飯田蛇笏は各々1(4.2)であ

Table II 自己関係

(1) 自分の性格等について満足していますか。		母親	7(29.2)
満足している	1(4.2)	友進	20(83.3)
やや満足している	11(45.8)	父親	2(8.3)
やや不満である	10(41.7)	両親	16(66.7)
不満である	2(8.3)	お世話になっている先生	6(25.0)
(2) 自分の性格についてどんなに考えていますか。		姉・兄	6(25.0)
非常に外向性である	3(12.5)	先輩	1(4.2)
やや外向性である	8(33.3)	おばさん	1(4.2)
普通(いずれでもない)	6(25.0)	(8) 特に理想とする人物, 愛好する作家, 芸術家等。	
やや内向性である	7(29.2)	黒柳徹子	1(4.2)
非常に内向性である	0(0)	いわさきちひろ	1(4.2)
(3) 自分の話し好きについてどんなに考えますか。		徳川家康	1(4.2)
非常に話し好きである	9(37.5)	田中角栄	1(4.2)
やや話し好きである	8(33.3)	S・ワンダー	1(4.2)
普通	6(25.0)	三浦綾子	3(12.5)
やや話し好きでない	0(0)	栗本 薫	1(4.2)
話すことは非常に嫌いである	1(4.2)	アガサ・クリスティ	1(4.2)
(4) 自分の意志は強いと思いますか。		赤川次郎	2(8.3)
非常に強い	4(16.7)	源氏鶏太	1(4.2)
やや強い	10(41.7)	飯田婉笏	1(4.2)
普通	5(20.8)	(9) 休日をどのように過すことが多いですか。	
やや弱い	5(20.8)	スポーツ	6(8.3)
非常に弱い	0(0)	映画・演劇等を見る	1(1.4)
(5) 自己的人柄は魅力があると思いますか。		ラジオ・テレビ	11(15.3)
非常に魅力がある	0(0)	読書	3(4.2)
やや魅力的である	4(16.7)	音楽	13(18.1)
普通	16(66.7)	町をぶらつく	19(26.4)
やや魅力が足りない	4(16.7)	小旅行	0(0)
非常に魅力がない	0(0)	勉強する	0(0)
(6) 人間として他の人と比較してどんなに思いますか。		家族の者とともに過す	2(2.8)
非常に優越感を持っている	0(0)	造形美術	0(0)
やや優越感を持っている	0(0)	室内遊戯	2(2.8)
普通	19(79.2)	けいこ事	0(0)
やや劣等感を持っている	4(16.7)	特に何もしないでぶらぶらしている	6(8.3)
非常に劣等感を持っている	1(4.2)	その他	7(9.7)
(7) 進学, 就職, 結婚等重要な問題は誰に相談するか			

った。ひと頃の青年の志向する人物とは極端に異なる傾向が出ている。(9)休日をどのように過すこと

が多いですかに対し、1位は町をぶらつく19(26.4)、2位は音楽13(18.1)、次いで3位はラジオ・テレビ11(15.3)、その他7(9.7)である。又、特に何もしないでぶらぶらしている6(8.3)、スポーツ6(8.3)、読書3(4.2)、家族とともにすごす2(2.8)、室内遊戯2(2.8)、映画・演劇等を見る1(1.4)と少なく、けいこ事、造形美術、小旅行、勉強するは皆無であった。余暇を受け身のにすごしている。方向性を持たぬ傾向が目立ち、特に、勉強、読書、けいこ事、観劇が減少した事実、まさに現代的な学生生活の一面をみた感がある。

### Ⅲ 友人・生活関係

先ず(1)現在の友人関係について満足していますかに対し、第1位満足している12(50.0)、次いで第2位やや満足している8(33.3)で約80パーセント以上のものが満足した友人関係を認めている。しかし、満足していない2(8.3)、分らない2(8.3)と、流動的な実態もみられる。(2)どんなことでも心をうちあけて話せる友人がいますかに対し、「いる」と回答したものは22(91.7)であった。その内、同性12(54.5)、両方8(36.4)、異性1(4.2)であった。(3)友だちづき合いは深入りしない方がよいに對して、「いいえ」が21(87.5)で、圧倒的に多かった。即ち、友人関係においては、どんなことでも友達に話し、深く交際し、又、満足しているのである。(4)閑なとき友人とどんな雑談をしますかに對し、1位は学業、職業、友人等について21(29.2)、2位は趣味、娯楽等19(26.2)、3位は恋愛や異性等について18(25.0)をとりあげている。

Table III 友人・生活関係

(1) 現在の友人関係について満足していますか。	
満足している	12(50.0)
やや満足している	8(33.3)
満足していない	2(8.3)
分らない	2(8.3)

(2) どんなことでも心をうちあけて話せる友人がいますか。

いる	22(91.7)
同性	12(54.5)
異性	1(4.2)
両方	8(36.4)
いない	2(8.3)

(3) 「友だちづき合いは深入りしない方がよい」

はい	3(12.5)
いいえ	21(87.5)

(4) 閑なとき友人とどんな雑談をしますか。

政治、経済等について	0(0)
衣食住等について	5(6.9)
学業、職業、友人等について	21(29.2)
将来の希望	6(8.3)
恋愛や異性等について	18(25.0)
人生・哲学論	0(0)
趣味、娯楽等	19(26.2)
その他	0(0)

Ⅳ 家族関係については(1)現在の家庭に満足していますかに對し、満足しているもの13(54.2)で1位であり、やや満足している8(33.3)、やや不満3(12.5)で、不満は皆無であった。恵まれた環境といえよう。(2)家族についてどんなに考えますかに對して、父の愛情12(50.0) 厳しい中に人間の本当の愛を教えてくれる。もっと話したい。との感想があげられた。母の愛情に對しての感想13(54.1)で、やさしい人、何も言わなくてもよく理解してくれているなどがあった。又、その他の家族14(58.3)、兄弟として理解し合い満足、時にはケンカしてもよく考えてくれるなどがある。全体の人間関係は12(50.0)で、それなりにうまく行っている、仲がよいなどあり、家族間の愛情は満されている結果が得られた。(3)親の考え方や生き方のくいちがいがありますかに對し、1位は、いくらあるが苦にしない17(70.8)、ある6(25.0)、ない1(4.2)であり、価値感の世代の相異がみられたが、苦にしない(愛情・理解)でカバーして

Table IV 家庭関係

(1) 現在の家庭に満足していますか。	
満足している	13(54.2)
やや満足している	8(33.3)
やや不満である	3(12.5)
不満である	0(0)
(2) 家族についてどんなに考えていますか。	
父の愛情	12(50.0)
厳しい中に人間の本当の愛を教えてくれる。	
形にならないけど、良いと思っている。	
比べると私より姉への愛情が強いように思える。	
普段口には出さないが心配してくれている。	
もう少しやさしくしてほしい。もっと話したい。	
母の愛情	13(54.1)
何も言わなくてもよく理解してくれている。	
人並みに愛情をもってくれているので感謝しています。	
過保護すぎるくらい私のことを愛してくれている。	
神経質で心配が多い。	
よく考えてくれている。やさしい人。	
その他の家族	14(58.3)
いつもお互い行き来していて仲が良い。	
姉は潔癖性で妹はおとなしい。	
時にはケンカしてもよく考えてくれている。	
妹は姉である私をうやまっている。	
兄弟としてわかっているので満足しています。	
全体の人間関係	12(50.0)
皆平等に個人の意見、行動を尊重	
心をわって何でも話せる。それなりにうまくいっている。	
スムーズで仲が良い。まとまっている。	
(3) 親の考え方や生き方のくいちがひがありますか。	
ある	6(25.0)
いくらかあるが苦にしない	17(70.8)
ない	1(4.2)
(4) 隣近所の家とうちとけた交流がありますか。	
ある	19(79.2)
ない	4(16.7)

(5) 家庭の収入は充分と思いますか。	
充分	15(62.5)
不充分	9(37.5)
(6) お母さんをどのようにしてあげたいと思いますか。	
もっと趣味や楽しみを持ってもらいたい	17(23.6)
家族みなももっと母を理解してほしい	2(2.8)
経済的にもっと独立させてあげたい	4(5.6)
夫や子どもに頼るだけでなく自分自身の生きる目的を持たせてあげたい	5(6.9)
家にばかりこもっていないで芸術、政治、社会問題などもっと外のことに関心をもってほしい	4(5.6)
母が年をとってからも、もっといっしょにいてあげたい	11(15.3)
(7) 青年期に両親その他に反抗を感じたか。	
強い反抗を感じた	4(16.7)
やや反抗を感じた	9(37.5)
あまり反抗的ではなかった	10(41.7)
全く反抗を感じなかった	1(4.2)

いる状態がみられる。(4)隣近所とうちとけた交流がありますかに対し「ある」19(79.2)で、「ない」4(16.7)であった。(5)家庭の収入は充分と見ますかに対し充分15(62.5)、不充分9(37.5)という結果が得られた。(6)お母さんをどのようにしてあげたいと思えますかに対し、第1位、もっと趣味や楽しみを持ってもらいたい17(23.6)、第2位、母が年をとってからも、もっといっしょにいてあげたい11(15.3)、次いで、生きる目的を持たせてあげたい5(6.9)、経済的にもっと独立させてあげたい4(5.6)、もっと外のことに関心を持ってほしい4(5.6)、家族がみなもっと母を理解してほしい2(2.8)と、母親に対する思いやりが強いことを示している。(7)青年期に両親その他に対し反抗を感じたかに対し、あまり反抗的ではなかった10(41.7)、やや反抗を感じた9(37.5)で、強い反抗を感じた4(16.7)が次ぎ、全く反抗を感じなかったもの1(4.2)もいる。即ち、約50パーセントのも

のが何らかの反抗を感じていたことになる。

V 学校関係については、(1)今までの学校生活に満足していますかに対し、やや満足 13(54.2) で約半数を上まわり、次いで、満足 4(16.7)で、いずれも満足で70パーセントを占めている。又、やや不満は 6(25.0)、不満は、わずか 1(4.2)であった。(2)進学するのは次の項目のいずれが主たる理由であるかに対し、第1位は、教養を身につけるためである 20(27.8)、第2位は、将来の職業生活や結婚生活を有利にするため 17(23.6)であった。又、他の人達が進学するので自分も進学したいは 11(15.3)もあり、意外に多い結果が得られた。次いで、親が、上級学校へ進学した方が、将来得であるとすすめる 7(9.7)で、その他 3(4.2)であった。又、本調査では、将来は親の職業や家柄などによって決まるから進学は必要ない。や、上級学校へ行くのは時間の浪費だ。若い時から働いた方がよい。や、上級学校へ行きたいが、生活のため働かなくてはならない。は皆無であり、恵まれた環境で、教養のため、将来のために進学するという理由のものが、約60パーセントであった。(3)学校は就職や結婚に有利になる手段となっているかに対し、「はい」は 21(87.5)と圧倒的に多いが、又、「いいえ」と答たものも 2(8.3)いる。(4)今の学校は試験の成績で優劣を決めて人間性を無視しているかに対し、「はい」15(62.5)という結果を得た。しかし「いいえ」8(33.3)もいて、全能力を測るものではないことを主張する学生も反面にはいることになる。(5)学校では社会に役立つ技術や知識が得られないかに対し、「はい」9(37.5)で、「いいえ」は 15(62.5)という結果を得た。要するに充分ではないが…という暗示とも受けとめられる。(6)学校では学生・生徒の意見が反映されていないかに対し「はい」17(70.8)、「いいえ」7(29.2)という回答を得た。(7)現代は能力よりも卒業した学校により就職・将来がきまる社会であるかに対し、「はい」18(75.0)、「いいえ」6(25.0)で、学生達は、学歴社会であると認知しているものが多い傾向を示した。

Table V 学校関係

(1) 今までの学校生活に満足していますか。	
満足	4(16.7)
やや満足	13(54.2)
やや不満	6(25.0)
不満	1(4.2)
(2) 進学するのは次の項目のいずれが主たる理由である。	
将来の職業生活や結婚生活を有利にするため	17(23.6)
教養を身につけるためである	20(27.8)
他の人達が進学するので自分も進学したい	11(15.3)
親が上級学校へ進学した方が将来得であるとすすめる	7(9.7)
将来は親の職業や家柄などによって決まるから進学は必要ない	0(0)
上級学校へ行くのは時間の浪費だ、若い時から働いた方がよい	0(0)
上級学校へ行きたいが生活のため働かなくてはならない	0(0)
その他	3(4.2)
(3) 学校は就職や結婚に有利になる手段となっているか。	
はい	21(87.5)
いいえ	2(8.3)
(4) 今の学校は試験の成績で優劣を決めて人間性を無視しているか。	
はい	15(62.5)
いいえ	8(33.3)
(5) 学校では社会で役立つ技術や知識が得られないか。	
はい	9(37.5)
いいえ	15(62.5)
(6) 学校では学生・生徒の意見が反映されていない。	
はい	17(70.8)
いいえ	7(29.2)
(7) 現代は能力よりも、卒業した学校により就職	

・将来がきまる社会である。

はい 18(75.0)  
いいえ 6(25.0)

Ⅴ 国家社会生活関係については、(1)我が国に生れ、我が国で生活することに満足しているかに対し、満足 13(54.2)次いでやや満足 9(37.5)と、約90パーセントを占めている。やや不満 2(8.3)はあるが、不満は皆無であり、やや不満と回答したのもも青年期独特の理想像を追っている姿とみてよからう。(2)我が国にとって次のどれが重要ですかに対し、第1位は、平和な社会を築くこと 18(25.0)、第2位、自然を大切にすること 17(23.6)、次いで第3位、社会保障に力を入れ、ゆったりとした生活にすること 14(19.4)、第4位、伝統や文化を大切にすること 9(12.5)と極く常識的な回答が得られた。かけがえのない文化、自然、平和な社会が、Subjectsの理念であるという結果が得られた。(3)「道路など公共事業のため立ち退きさせられる人達はしばしば反対運動をおこなっています。」その運動についてはに対し、権利の主張として当然だと思ふ 17(70.8)、次いで公共の福祉のため不当だと思ふ 4(16.7)、その他 3(12.5)という結果であった。個人の利益に関する事柄には保主的でいられないSubjectsの特徴を見た思いがする。(9)大人は現状維持を大切にしているのに対し、「はい」は 12(50.0)、「いいえ」 11(45.8)と、半々の結果が得られた。(10)「老人が気の毒な社会だ」に対し、「いいえ」 17(70.8)、「はい」は 7(29.2)で、少しばかり、社会に対し批判的である。(11)国は国民の権利や福祉を守っているのに対し、やや充分 13(54.2)あまり充分でない 11(45.8)と、二分した回答が得られたが、Subjectsの関心度にも関連しているものと考察される。(12)社会に対して不満を持ったと仮定し、どんな態度がいかのに対し、選挙権を行使するくらいでそれ以上積極的な態度はとらない 14(58.3)と、過半数を占め第1位である。次いで、あまり関心がない何もやらない 5(20.8)で、かなり消極的であるが、個人の力では及ばないと

Table Ⅴ 国家社会生活関係

(1) 我が国に生れ、我が国で生活することに満足しているか。	
満足	13(54.2)
やや満足	9(37.5)
やや不満	2(8.3)
不満	0(0)
(2) 我が国にとって次のどれが重要か。	
伝統や文化を大切にすること	9(12.5)
産業を奨励し、経済生活を豊かにすること	4(5.6)
社会保障に力を入れ、ゆったりとした生活にすること	14(19.4)
平和な社会を築くこと	18(25.0)
自然を大切にすること	17(23.6)
国際社会で尊敬されること	5(6.9)
その他	0(0)
(3) 「道路など公共事業のため立ち退きさせられる人達はしばしば反対運動をおこなっています」その運動について。	
権利の主張として当然だと思ふ	17(70.8)
公共の福祉のため不当だと思ふ	4(16.7)
その他	3(12.5)
(4) 「国全体の利益に重点がおかれすぎて国民ひとりひとりがなおざりにされている」と思ふか。	
はい	19(79.2)
いいえ	5(20.8)
(5) 「国民ののぞむことと反対の政治が行われていることがある」	
はい	18(75.0)
いいえ	5(20.8)
(6) 「人間の信頼より規則や法律に縛られている社会である」	
はい	13(54.2)
いいえ	11(45.8)
(7) 金さえあれば何でもできる物質万能の社会になっている。	
はい	18(75.0)
いいえ	6(25.0)

(8) 「人間の将来は親の職業や家柄によって事実上きまっている」

はい 12(50.0)

いいえ 12(50.0)

(9) 「大人は現状維持を大切にすぎている」

はい 12(50.0)

いいえ 11(45.8)

(10) 「老人が気の毒な社会だ」

はい 7(29.2)

いいえ 17(70.8)

(11) 「国は国民の権利や福祉を守っている」

充分 0(0)

やや充分 13(54.2)

あまり充分でない 11(45.8)

全くだめ 0(0)

(12) 社会に対して不満を持ったと仮定しどんな態度が

いいか、選挙権を行使するくらいで

選挙権を行使するくらいでそれ以上積極的

極的な態度はとらない 14(58.3)

その理由 個人の力では及ばないところに問題があるから 12  
 社会のことは誰か適当な人がやればよいから 0  
 自分にとって他にもっと大切なことがあるから 1

合法的範囲で積極的な行動に訴える 2(8.3)

場合によっては暴力など非合法の手

段にも訴える 0(0)

あまり関心がなく何もやらない 5(20.8)

ころに問題があるから 12(50.0)と理由づけしている。しかし、合法的範囲で積極的な行動に訴える 2(8.3)もある。

Ⅶ 未来感関係について、(1)人類の英知で世界大戦はさけられるだろうに対し、「はい」15(62.5)、「いいえ」8(33.3)という回答を得た。(2)人類の英知で地球の汚染や資源の減失は防げるだろうに対し、「はい」11(45.8)、「いいえ」12(50.0)と、極くわずかではあるが、世界大戦と、地球の汚染や資源の減失とは逆転した結果をみた。(3)

(3)「30年後にはもっと住みよい社会になっているだろう」に対し、「はい」は7(29.2)と低く、「いいえ」は16(66.7)と、住みにくい社会を想定している。

Table VII 未来感関係

(1) 「人類の英知で世界大戦はさけられるだろう」

はい 15(62.5)

いいえ 8(33.3)

(2) 「人類の英知で地球の汚染や資源の減失は防げるだろう」

はい 11(45.8)

いいえ 12(50.0)

(3) 「30年後にはもっと住みよい社会になっているだろう」

はい 7(29.2)

いいえ 16(66.7)

Ⅷ. 異性関係について、(1)結婚について見合い結婚と恋愛結婚とどちらが望ましいかに対し、恋愛結婚 14(58.3)、どちらでもよい 8(33.3)で恋愛結婚を是認している。見合い結婚はわずか 1(4.2)であり Subjects には好まれなようである。(2)結婚の相手を選ぶとき次のどれを最も重要とするかに対し、第1位、愛情 19(26.4)、第2位性格 17(23.6)、経済(生活能力) 17(23.6)、次いで健康 12(16.7)であった。逆に、知能、家庭環境、純潔は選ばれていない。(3)性的変化(初潮等)についてどんな感じを持ちましたかに対し、1位は、はずかしい感じ 12(16.7)、2位はいやな感じ 10(13.9)、次いで3位は不安な感じ 9(12.5)、予期したものが生じた感じ 9(12.5)で、第5位は大人になった感じ 8(11.1)であった。又、逆に嬉しかった 2(2.8)は以外に少なかった。いずれにしても不安、恥かしい感じと、Negativeな反応を示している。(4)性的知識を主にどんな経路で得ましたかに対し第1位、学校(特に友人) 21(29.2)、第2位、雑誌 17(23.6)、次いで第3位、テレビ・映画等 11(15.3)という結果であり、家族からは 5(6.9)と



Table VIII 異性関係

(1) 結婚について、見合結婚と恋愛結婚とどちらが望ましいか。	
見合結婚	1(4.2)
恋愛結婚	14(58.3)
どちらでもよい	8(33.3)
(2) 結婚の相手を選ぶとき次のどれを最も重要とするか	
健康	12(16.7)
愛情	19(26.4)
知能(学業成績等)	0(0)
性格	17(23.6)
容姿	1(1.4)
経済(生活能力)	17(23.6)
職業	1(1.4)
家庭環境	0(0)
純潔	0(0)
その他	1(1.4)
(3) 性的変化(初潮)についてどんな感じを持ちましたか。	
うれしかった	2(2.8)
いやな感じ	10(13.9)
はずかしい感じ	12(16.7)
不安な感じ	9(12.5)
予期したものが生じた感じ	9(12.5)
大人になった感じ	8(11.1)
誰かに打ち明けたい感じ	0(0)
その他	1(1.4)
(4) 性的知識を主としてどんな経路で得ましたか。	
家族	5(6.9)
イ. 父 0   ロ. 母 4   ハ. その他 0	
学校	21(29.2)
イ. 教師 5   ロ. 学友 13   ハ. その他 0	
図書	1(1.4)
雑誌	17(23.6)
テレビ, 映画等	11(15.3)
その他	0(0)
(5) 現在特に愛情を感じている異性がありますか。	
いる	9(37.5)

イ. 一方的 2   ロ. 相互的 7	
いない	14(58.3)
その他	0(0)
(6) 結婚前の性的関係を認めますか。	
避けるべきである	4(16.7)
理由 純潔な関係が大切であると思うから	
愛情があればいい	14(58.3)
理由 ○愛情があれば当然のことだしそれに伴って避妊を考えるのも当然の責任である。それがなければ認めない。 ○結婚はあまり関係がないと思うからあたりまえ。	
愛情がなくてもいい	0(0)
分らない	5(20.8)
(7) 現在純潔ですか。	
純潔である	20(83.3)
純潔でない	3(12.5)
(8) 結婚した場合相手の家族との同居について。	
同居してよい	3(12.5)
別居したい	15(62.5)
どちらでもよい	5(20.8)
(9) 同性愛を感じた経験がありますか。	
強い同性愛を持ち異性への興味がない	1(4.2)
強い同性愛を持つが異性への愛情は別	3(12.5)
個である	
軽い同性愛を持った	0(0)
その他	17(70.8)
(10) 結婚する場合、相手の純潔についてどんなに考えますか。	
絶対に純潔であることを求める	0(0)
純潔であることを希望するがあまり拘	6(25.0)
泥しない	
純潔については殆んど問題にしない	16(66.7)
少なく、正しい経路で教育のなされていないことが指摘されるであろう。(5)現在特に愛情を感じている異性がありますかに対し、「いない」14(58.3)、次いで、「いる」9(37.5)であった。(6)結婚前の性的関係を認めますかに対し、1位は愛情があればいい14(58.3)、2位は、分らない5(20.8)、	

避けるべきである 4(16.7)であった。しかし、愛情がなくてもいいは皆無であり、女子学生の特徴であろう。(7)現在純潔ですかに対し、純潔である 20(83.3)、純潔でない 3(12.5)、という結果であった。(8)結婚した場合相手の家族との同居についてに対し、別居したい 15(62.5)で、同居したい 3(12.5)を圧倒的に上回っているが、同時に、どちらでもよい 5(20.8)という回答も寄せられた。(9)同性愛を感じた経験はありますかに対し、第 1 位はその他 17(70.8)で、即ち、異性の愛との回答とも受けとめられる。次いで、強い同性愛を持つが、第 2 位は異性への愛情は別固である 3(12.5)、強い同性愛を持ち異性への興味がない 1(4.2)もあり、環境要因により変容するであろう。(10)結婚する場合、相手の純潔についてどんなに考えますかに対し、純潔については殆んど問題にしない 16(66.7)が、予想外に多く、次いで純潔であることを希望するが、あまり拘泥しない 6(25.0)であった。又、絶対に純潔であることを求めるは、皆無であった。即ち、結婚の条件としての純潔は、望ましいが絶対的なものではない。Subjects は、愛情、性格、経済(生活能力)、健康を条件として選んでいる。

結論：本調査は、研究のための予備調査であり、10年前の調査結果(未報告)と、現在の結果との比較考察をする計画であり、青年の、時代・環境的要因にともない変容する部分と、個定的側面とを明らかにし、性差に依る比較検討もしたいと考えている。

文献：

- 1) 野村晶子, 1964, 女子高校生の Personality について; 修士論文(日本女子大学)。
- 2) 野村晶子, 1974, 生理機能と精神効果に関する研究(第 3 報); 日本教育心理学会第 16 回総会発表論文集。
- 3) 野村晶子, 1979, 女子学生の生理機能と Personality について(第 6 報); 日本心理学会第 43 回大会論文集。
- 4) 岡本浩一, 1985, 独自性欲求の個人差測定に関する研究; 心理学研究。
- 5) 岩脇三良, 1985, 結婚相手を選ぶときの要因(好み); 日本心理学会第 49 回大会論文集。
- 6) 梅本堯夫, 1985, 自己意識と Self-esteem が自己に関連した情報の処理に及ぼす影響について; 日本心理学会第 49 回大会論文集。
- 7) 昭和 48 年総理府青少年対策本部編, 1976, 青少年白書; 総理府青少年対策本部。